

事業所名		愛の家 むなかた館				支援プログラム（参考様式）				作成日		2024 年		10 月		23 日	
法人（事業所）理念		『慈愛の心 尊厳を守る お客様第一主義』															
支援方針		こどもの発達や障害特性・行動特性を理解し、個人の適応能力を向上させることをゴールとします。 構造化を持ち得て適切な技能を発達させるため、正確な評価と環境整備を行います。 最初から諦めるのではなく、何にでもチャレンジし、可能性を最大限引き出しながら支援を行います。 生涯にわたる地域に根ざしたサービスと支援を行います。															
営業時間		平日 10 時 00 分から 19 時 00 分まで 休校日 9 時 00 分から 18 時 00 分まで				送迎実施の有無		<div>あり</div> なし									
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・さまざまな活動の中で友達と触れ合い、楽しんで体を動かすことで健康な心と体を育てます。 ・衣服の着脱や食事、排泄など生活に必要なことに挑戦できるよう支援します。 ・こどもが持つ機能等の状態に応じた専門職による個別訓練を実施していきます。 ・医療的ケアが必要であっても適切な処置を受けることでむなかた館にて安心安全に過ごしていただけます。															
	運動・感覚	・こどもの感覚を十分に活用できるよう、さまざまな遊びを通して支援します ・こどもの状態や発達の段階に応じて感覚の偏りに対する環境調整の支援を行います。 ・座位、立位、歩行など様々な動作能力向上を支援を行います。 ・車いす等から降り、リラックスしたり、身体のストレッチなどもしていきます。															
	認知・行動	・発達に応じた個別課題を行い、属性や大きさ、色や数など概念の形成を図ります。 ・場面に応じた表情変化を引き出していきます。 ・活動の中で五感を十分に活用して認知機能の発達を促す支援を行います。 ・屋外活動では季節の香りや風など季節の変化を五感で感じ、様々な体験をすることで興味をもつなど感性の形成を支援します。															
	言語コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情やサインなどを用いて自分の気持ちを伝えたりしながら意思のやりとりを行なえるよう支援します ・絵カードやタブレット機器を用いた代替コミュニケーションを活用し、意思の伝達が円滑にできるように支援します。 ・専門職による個別訓練を実施していきます。															
	人間関係社会性	・外出レクを通して社会性が身につくように、色々な場所へ出かけます。 ・順番を待つ、お片付けをする等、遊びを通して社会性を育てます。 ・友達の中で共に活動することを通じて仲間づくりに繋がるよう支援します。															
家族支援		・常にこどもの様子をご家族に伝達し、安心して通所していただけます。 ・保護者の就労を助ける為、送迎や延長支援を実施します。 ・悩みや相談などLINEや電話で受け付け、必要に応じて専門的機関へ繋がります				移行支援		・インクルーシブ活動として休業日には地域の児童館や公園、商業施設を利用し、こどもが地域で暮らすイメージを持てるよう支援します。 ・ライフステージの移行時には移行先事業所への丁寧な支援方法を伝達します。									
地域支援・地域連携		・こどもの様子を情報共有できるよう定期的に会議を開催します。 ・子どもを中心にとり巻く関係機関や関係者との連携をすることでこどもの成長をサポートし、将来地域で暮らして行く中で切れ目のない支援ができるようにしていきます。				職員の質の向上		・職員の知識と技術の向上のため、法人にて年間研修計画を策定しています。 ・月1回のスキルアップ研修の他、法人で虐待防止・身体拘束廃止や衛生管理の各種委員会の設置、定期的な委員会開催や研修計画に沿って研修を実施しています。									
主な行事等		初詣、花見、プール遊び、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー その他外出活動(博物館、公園、空港、近隣のスーパーなど)															